



農村歌舞伎が盛んだった奈義町の地下芝居舞台の一つ

松神神社歌舞伎舞台



指定区分	県指定重要有形民俗文化財
読みかた	まつがみじんじゃかぶきぶたい
所在地	奈義町中島東(松神神社)
指定年月日	昭和38年4月12日
解説	木造、平屋、瓦葺。上手に太夫座と囃子座、神社の拝殿と結んで花道があり、木製滑車による直径5.8mの回り舞台がある。近くの有元王子権現に1846年(弘化3年)に建てられたものを1921年(大正10年)に現在の場所に移築。現在の奈義町を中心に江戸時代末期から昭和初期にかけて地下芝居が盛んであった。
アクセス方法	JR津山駅から車40分
公開状況	年1回の春の公演日以外は外観のみ見学可能 / 問:奈義町文化センター 0868-36-3034
設備	駐車場  トイレ 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要有形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	松神神社歌舞伎舞台
よみかた	まつがみじんじゃかぶきぶたい
しょざいち (所在地)	奈義町中島東(松神神社)
していしたひ (指定した日)	昭和38年4月12日
せつめい	江戸時代(えどじだい)おわりごろから昭和(しょうわ)のはじめごろにかけて、美作地区(みまさかちく)では奈義町(なぎちょう)を中心に地下芝居(ちかしばい)が盛(さ)かんでした。そのころに建(た)てられた芝居小屋(しばいごや)の一つです。